

セミの賑やかな鳴き声が響き渡り、いよいよ本格的な夏がやってまいりました。先週は、お忙しい中、保育参観にお越しいただき本当にありがとうございました。4月の入園・進級当初は、新しい環境にドキドキしていた子どもたちでしたが、この1学期の日々の中で、心も身体も驚くほど大きく、逞しく成長いたしました。今回は、参観日での姿、スピード感を増していく日々の遊びの様子を通して、子どもたちの一学期の「学びと育ちの軌跡」をお届けいたします。

【3歳児】

先生や友達と一緒に過ごす安心感の中で、遊ぶ楽しさを十分に感じられるようになりました。参観日の身体表現では、子どもたちから「次はチーター」「ダンゴムシ」となりたい動物や虫のリクエストが積極的に飛び出し、のびのびと表現する姿が見られました。現在はそこからさらに遊びが深まり、室内で大型ダンボールを用いた「スーパーアンビュランス（特殊救急車）」を自分たちで作っています。さらに子どもたちから「消防署も作りたい」という声が上がリ、ダンボールを積んで消防署の門に見立てるなど、自分たちで世界観を広げて創造的に遊ぶ姿が見られます。

【4歳児】

運動会で虫になって遊んだ経験が今も豊かな遊びとして息づいており、参観では4～5人の小集団の中で思いを出し合いながら創造的に遊ぶ"フェスティバル"を見ていただきました。現在は、友達が展開している別の遊びにも「こうしたらいいんじゃない」とアドバイスをする姿も見られるようになってきています。そんな中、3歳児を"フェスティバル"に招待して、映画やダンス、電車や転がしゲーム、ドーナツ屋さんの紹介をしたり遊び方を見せたりして、年下の友達も楽しく遊べるように優しく接していました。

【5歳児】

最高学年としての意識が随所に光っています。朝の挨拶にいきいきとした声が響き、今日も遊ぶぞという目的意識をもって登園していることが伝わってきます。夏野菜や飼育物の世話にも日々責任をもって取り組んでおり、カブトムシの成虫がひっくり返ったのを見たことから、子どもたちの観察眼に火がつけました。観察を繰り返し、気づいたことを子ども同士で熱心に伝え合い、廃材などの素材を使ってカブトムシを再現。小さな命への感動体験をクラスの友達と共有し、共通の目的をもって協同的に遊ぶ姿が見られています。

輝く夏を越えて、さらなる成長の2学期へ

保護者の皆様の温かいまなざしに見守られた参観を経て、子どもたちはまた一回り大きな自信に繋がる経験を得ることができました。3歳児の豊かなイメージの膨らみ、4歳児の仲間とイメージを形にする創造力、そして5歳児の生命の不思議に目を向け、友達と深く関わりながら学ぶ知恵。どの学年も、主体性と学びに満ちた姿を見せてくれています。まもなく始まる長い夏休み、健康と安全に十分気をつけて楽しい思い出を作ってください。2学期に逞しくなった子どもたちに会えることを楽しみにしております。